

血液検査項目

W B C	白血球	体を防御する（細菌やウイルスから）細胞です。 その為、血液中に増えると何らかの感染症にかかっていることが疑われます。
R B C	赤血球	肺で取り込まれた酸素を全身の組織に運んでいます。 RBC数が減少すると組織への酸素供給が減り、動機息切れ・頭痛・めまいなどが起こります。
H G B	ヘモグロビン	赤血球の成分のひとつでHbの鉄が酸素と結びついて酸素を全身に運んでいます。
H C T	ヘマトクリット	血液に占める赤血球の容積の割合を%で示した値です。
P L T	血小板	血液を凝固させて出血を止める働きをする血液成分です。数が減少すると出血しやすくなったり、出血が止まりにくくなります。
血 沈	赤血球沈降速度	赤血球の沈む速度を測定します。 炎症性疾患で亢進しますが、貧血の影響を受けやすい検査です。
PT	プロトロンビン時間	血液が凝固するには、血管外（外因系）と血管内（内因系）の凝固因子がともに作用します。このうち、血管外の組織中に存在する凝固因子の異常を検索します
A P T T	活性化トロンボプラスチン	血液が凝固するには、血管外（外因系）と血管内（内因系）の凝固因子がともに作用します。このうち、血管内の組織中に存在する凝固因子の異常を検索します

FDP	フィブリン 分解産物	血液を固める役割を果たしたフィブリンは酵素によって処理・分解され、このときにできる老廃物がFDPです FDPが高いということは、凝固異常・血栓ができやすい状態であることを示しています。
D・D	Dダイマー	FDPの分解成分の種類の1つをDダイマーと言います Dダイマーの増加は二次線溶の亢進と判断できます